

淨馬 校令

五生 主務

主務

秘書官

聯帶

十二年五月十四日

主務

第二部長 佐雙

大臣

次官 兼

第一部長 兼

第二部長 國

横江 聖徳 守之府 不 長及

多分二五の号を以て  
其の部を以てして  
其の部を以てして  
其の部を以てして

明治三十二年五月十六日

官房第六三七号

0501

鳥第二五九番

許の



第二課廻  
第三課廻  
白藏

端艇改造之義存上申

本年一月二十六日付鳥第七〇号ヲ以テ職士衣部  
新設及改造方上申候處端艇之部於テハ  
此際「キグ」五挺立ニ改造之義認可  
相成候得共最前意見上申之如ク全  
「カワトル」五艘「キグ」五艘「フジキ」五艘ニテハ  
乗負ニ對スル容積少クナルカ故ニ更ニ「フジキ」  
「カワトル」五艘取愛容兩艦ト同体存一様ニ  
「カワトル」五艘「キグ」五艘ニ由テ改造相成候上  
「キグ」五艘「フジキ」五艘ニ由テ改造相成候様致  
度此段令又上申候也

0502

明治二十二年四月三日

自一海艦四一

横濱鎮守府司令長官子爵仁礼景範殿

官ニカワトルハ未城ニ備付可相成分既

横須賀造船所於テ以落成貯蓄有之哉

傳来候以果此ヲ認可相成候義

候得ハ一時繰替渡相成候様致度此

般申副候也

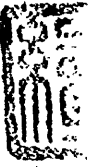
軍艦島海端船改造方、件存合又水艦

長前書之通申出候處該件ハ日裏

横鎮第五九ニ号、ハ副申、別紙本艦船

外部改告新設工事、廉書中端船改

0503



告、部へ付箋せし通ギグ貳艘ノ内艦長用ギグ  
 一艘丈五挺立、改造し其餘ハ追テ古損引  
 換ノ時期ニ至リ詮議至致答言ハ既ニ官房第  
 四一五号ヲステ御認許相成タル義ニ候得共前  
 段再申ノ趣モ亦無止被存候下并「ロニギ」  
 ヲカワタリ、備換ルモノトスレハ然テ「ダビット」之改  
 造ヲモ要シ頗ル費用相立候存是ハ前意  
 見通り追テ古損引換ノ時期及ヒ詮議スル  
 モ、トシテ令吉艦ノ「キグ」丈ケツ艦長用同様  
 五挺立ニ改造シ為致度候條認許相成  
 様致度此段副申候也  
 但本文「キグ」改造ノ入費概算金五六千円  
 工率日数十五日間之見込候也

0504

明治三十三年五月九日

横須賀鎮守府司令長官西郷對仁禮景範



海軍大臣西郷從道殿

0505